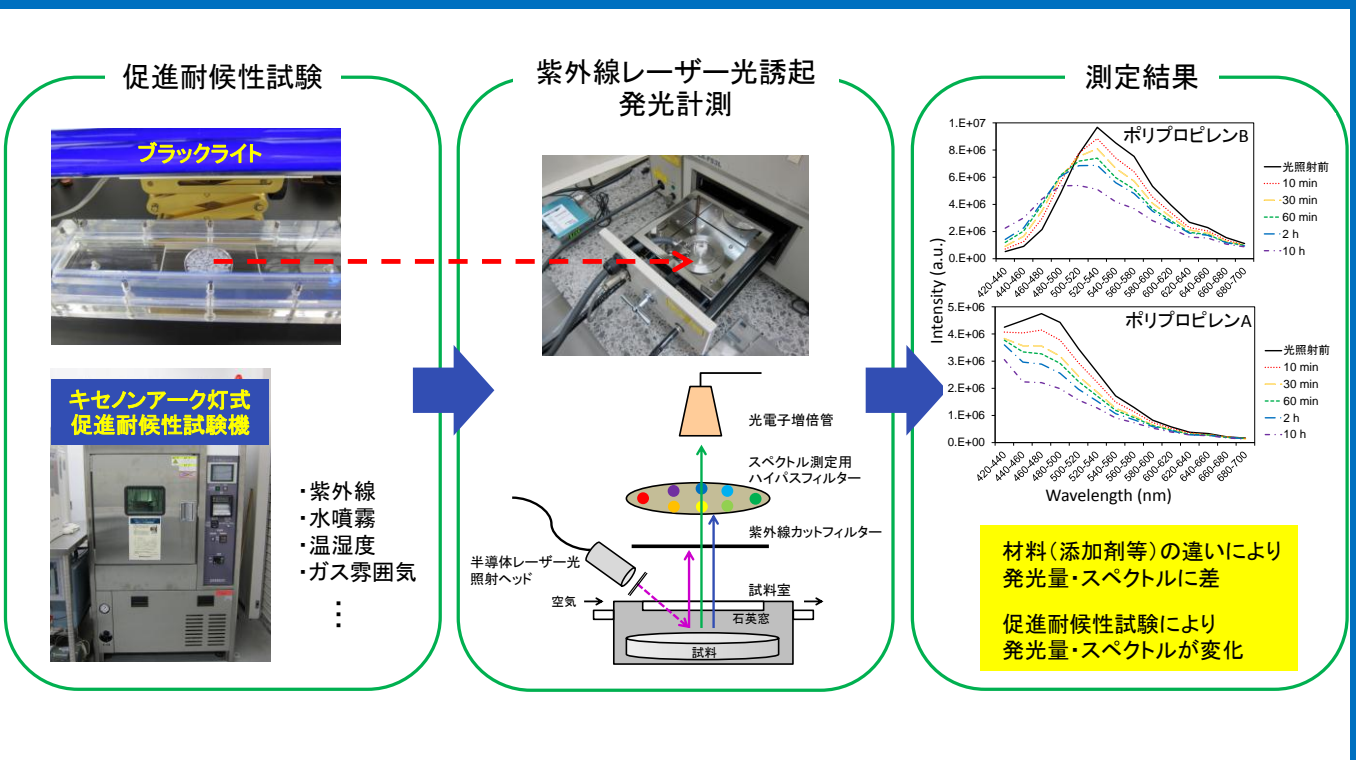


発光計測による促進耐候性試験後の劣化評価

耐候性試験を実施した高分子材料の表面に紫外線レーザー光を照射したときに誘起される発光の挙動を解析することにより、劣化の進行度を迅速に評価する手法の検討を行いました。

本技術の内容・特徴



従来技術に比べての優位性

- ① 高分子材料の初期劣化を検出
- ② 1回の測定時間は10分以内
- ③ 連続測定が可能

予想される効果・応用分野

- ① 耐候性評価にかかる時間の短縮
- ② 耐候性に優れた高分子材料の開発に応用
- ③ 開発スピードの向上

提供できる支援方法

- オーダーメイド開発支援
- 共同研究

知財関連の状況、文献・資料

➤ 文献資料

- [1] 杉森: 都産技研研究報告, No.10, p.114-115 (2015)
<http://www.iri-tokyo.jp/joho/kohoshi/houkoku/h27/documents/n2727.pdf>
- [2] 杉森: 平成27年度都産技研研究成果発表会要旨集, p.136
http://www.iri-tokyo.jp/joho/seika/h27_youshi/documents/kanky2_02.pdf

繊維・化学グループ<多摩テクノプラザ>
 杉森 博和

Tel : 042-500-1294

E-mail : sugimori.hirokazu@iri-tokyo.jp